



北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No24
文責 芹川博文
10月18日(金)

「表現力と調整力」で、本気で磨き合う

～ 後期を迎えるにあたって大切にしてほしいこと ～

後期始業式で、生徒たちに伝えた内容を紹介させていただきます。

【表現力】

「おはようございます。」毎朝、立ち止まって丁寧な挨拶してくれる生徒たちがいます。

「こんにちは！」100m以上遠くから私の姿に気づき、大きな声で挨拶してくれる部活動中の生徒たちがいます。たった一言で、こんなに気持ちが晴れやかになるものかと感じる瞬間です。

挨拶は最も短い、そして奥深いコミュニケーションです。この挨拶という表現力を、本気で磨いてほしいと願います。後期は、表現力を磨くのに適した行事がたくさんあります。

また、行事だけが「表現の場」ではありません。

掃除時間に黙々と床を磨く人がいます。授業中に相手の目を見て話す人、聞く人がいます。丁寧に文字を書き、音楽を奏で、作品を仕上げていく人がいます。どれも、素敵な「表現」です。後期は、この「表現力」を、自ら考え、なかまと磨き合い、一人一人が放つ「My color」を受けとめ合い、味わってほしいと願います。

【調整力】

「調整力」とは、「調子を整える力」とも解釈されます。たくさんの調子があることでしょ。体の調子、心の調子、生活の調子、対人関係の調子……。大人になる上でも大切なことです。「やりたいからやる」だけでは、相手の心を傷つけたり、自分自身の調子を崩したりします。調整力を高めるため欠かせないのは、「自己コントロール力」です。

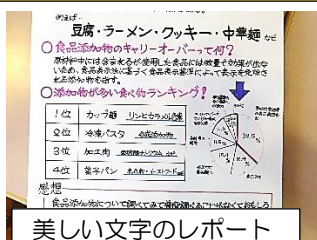
「どんな自分になりたいか」を思い描き、やってみて、味わう。

当然、思い通りにいかないことが出てきます。そこで調整していきます。

具体的に、今日から、家に帰ってからの自分の生活を整えてみてください。

ほんの少しの変化でもいいのです。「調整力」を高め、生活を整えていきましょう。

後期は、この「調整力」も、自ら考え、なかまと磨き合って、お互いの変化を受けとめ合い、味わってほしいと願います。今日から始まる後期の北中、みんなで創っていきましょう。



美しい文字のレポート



後期の授業風景



掃除に没頭する生徒



赤星先生による応援作品

「当時の北中は、『語先後礼』でした」

～ OBが語った、8年前の北中 ～

「当時の北中は、『語先後礼』でした」と語ったのは、駅伝練習の助っ人で来ていただいた、北中OBの清田先生(元教育実習生)。「語先後礼」ー 私にとって初めて出会う言葉でした。確かに、挨拶が先、礼を後にすると、更に引きしまった感じがします。清田先生曰く、「8年前の当時、私は生活委員長でした。ほとんどの生徒が立ち止まって挨拶をしていました」。

私自身が中学生の頃習ったのは、「挨拶は二度する」ということでした。どんなに遠くても気づいた時点で大きな声で挨拶。近い距離になって、もう一度、挨拶をするというものでした。

北中五訓の1番目は、「心のこもったあいさつをかわそう」です。後期の北中、学校全体で取り組み、その変化を生徒たちと共に味わえたらと願います。